

一見棒針で編んだニットのように見える織り地になります。ニットよりもしっかりとした仕上がりになり、とてもあたたかいストールです。

デザイン／曾田よう子

<用具>

手織り機「咲きおり」 40cm
30羽ソウコウ<40cm>
58-132 ピックアップスティック<49cm>
シャトル<小>もしくは<大> 計2本

<材料>

クロバー ジャンボスター(61-511) 10玉

「咲きおり」で織る あったかストール

よこ糸の織り密度 6段／4cm

たて糸の幅・本数 39cm・48本・117羽

(「たて糸の配置」をご参照ください)

たて糸の長さ 180cm

織り上がりサイズ 40cm×130cm(房ふくまず。)

たて糸の配置



織り地



【※参考】部分的に平織りを入れると模様織りになります。

<作り方>

- ①「たて糸の配置」に従いたて糸を張り、捨て織りを別糸(分量外)で3段織ります。
- ②シャトルを2本用意し、よこ糸を**2本どり**で巻きます。
- ③ソウコウはフラットのままよこ糸を織ります。
※よこ糸の通し方は2ページ目の「織り方」をご参照ください。
- ④ソウコウを開いてピックアップスティックを入れ、よこ糸を軽く打ち込みます。
今回は打ち込みにソウコウは動かしません。
- ⑤織り上がったら、別糸(分量外)で3段捨て織りを織って機から外します。
- ⑥3本ずつネクタイ結びで房を作り、10cmほどでカットします。
(房をカットするときにテープカット定規とロータリーカッターがあると便利です。)

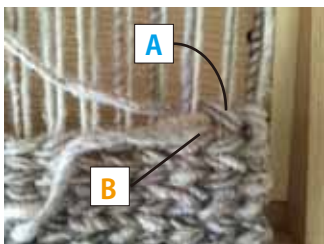
<織り方>



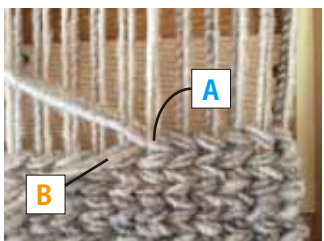
①
たて糸は2本1組で織ります。
最初の1組目のたて糸に下からシャトルを通します。このシャトルをAとします。



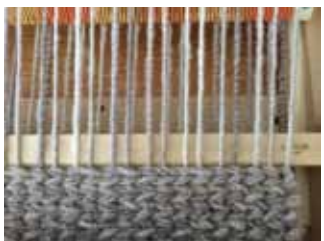
②
次は、もう一つのシャトル(シャトルBとします)を使います。
1組目のたて糸の上を通り、1組目と2組目の間から2組目をすくうように通します。



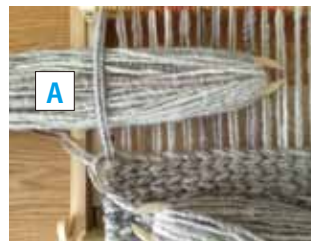
③
次はAのシャトルの糸がBのシャトルの糸の上になるように交差させ、3組目をすくいます。
このように、よこ糸はA・Bを絡ませながらたて糸をすくって織っていきます。
(右下の図も参考にしてください)



④
Bの糸を絡ませるときは、A糸の上を通り、1組先へ渡ります。
Aの糸を絡ませるときは、B糸の上を通り、1組先へ渡ります。



⑤
1段織れたらソウコウを開き、ピックアップスティックをたて糸の間に入れて軽く打ち込みます。



⑥
2段目を織ります。
1段目と同様、Aのシャトルを左1組目の下から通します。



⑦
Bのシャトルは1組目の上を通り1組目と2組目の間から2組目をすくうように通します。
3組目以降も繰り返します。

⑧
端まで織ったら⑤と同様にピックアップスティックで軽く打ち込み、①から繰り返し織っていきます。

※この織り方で織っていくと、よこ糸は下図のようになります。

